

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	みらいく第二南大泉園
施設所在地	東京都練馬区南大泉5-36-10
事業者名	株式会社第一コーポレーション

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

園の周辺には多くの公園があり、四季の自然に触れられる環境があることから、散歩や園庭遊びの中で草花や虫に興味を持つ子どもたちの姿を大切に、自然を通して季節や命への気づきを深めていきたいと考え、このテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

- ・ 戸外遊び（園庭、公園）通年
- ・ 8月 保育士向け自然あそび研修受講、子どもたちへの実践
- ・ 10月 5歳児クラス里山への自然体験遠足
- ・ 11月 4歳児クラス森への自然体験遠足

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

地域の自然を知る為の職員の学びの場

自然観察するためのカップや虫眼鏡

園外の自然探求のため森、里山への遠足

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

0歳

様々な容器、素材の物を使ってどんぐりの音、感触を楽しむ一小さなペットボトルへどんぐりをつまんで入れ、ポトンと音がする。ザルにどんぐりを入れ振るとシャカシャカと音がするなど音の違いを楽しんだ。ボウルに入れたどんぐりをスプーンですくう。板を坂にしてどんぐりを並べてみたり転がしたりした。

1歳

自然物で遊ぼう一園庭で色々な葉っぱや木の実で遊ぶ。葉っぱや木の実を容器に入れて音を楽しんでいた。入れる物によって音が違うのを楽しむ。

2歳

虫探し一公園で穴の開いているところに虫がいるのではないかと木の枝で穴を掘りながら虫を探した。

3歳

葉の仲間探し一園庭、公園で拾ってきた葉っぱを並べ、葉っぱの感触や匂いを確かめる。同じ種類の葉っぱを集める仲間探しをするうえで、感じたことを発表する。

4歳

ゆず湯をしよう一園庭で実ったゆずを収穫し、ゆず湯をやろうと決めた。ゆず以外にも香りのする足湯をしようと香り探しをし、かりんの足湯も行った。

5歳

花びら集め一公園で拾った花びらが綺麗で持ち帰った。顕微鏡で花びらを見る子や色水にする子、花びらでお絵描きをする子など花びらで活動が広がった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

0歳一どんぐりの落とし方、振り方によって音が変わると「お!」「あ!」など言い、ジェスチャーと表情で発見を伝えてくれる姿が見られた。

1歳一友達がペットボトルに押し込んだ葉っぱやどんぐりを振って音を楽しむ様子を見てクラス全体で真似をするようになりみんなで音を楽しんでいるので楽器遊びへと繋がった。

2歳一冬なのに急に公園で虫探しをしたいと子どもからの発信があり、虫のいそうな場所を探す。穴の開いているところ、落ち葉の下など覗いて探す姿があった。虫は見つからないので子どもたちは丸くなってどこにいるか話し合い「どんぐり食べるからどんぐりあったらいいんじゃない?」と提案し合っていた。

3歳一「これはブドウの匂いがするよ」「この葉っぱギザギザしているから仲間だ」など感想を共有し楽しんでいた。ドレッシングのボトルを導入すると匂いが凝縮されより匂いに意識を向ける子の姿が増えた。子どもたちの発表を聞いて「同じ葉の匂いを嗅いでもそれぞれ感じることは違う」ことを感じとっていた。

4歳一匂い探しをするなかでどのようにすると匂いが強く感じられるのか、果物を切る、すりおろす、皮をむくなど試した。

5歳一「ここにきれいな花びらが落ちているよ」と子ども同士でどこに落ちているか話しながら見つけることを楽しむ。花びらを使って遊びたいという声から何をするか話し合う。

観察では「よく見てみたい」という声があったため顕微鏡を使い観察した。「絵の具みたいになるかも」という言葉から紙に描いてみると「ピンクの花なのに紫になった」と話す。「水を入れたら色がでるかも」と水を入れてもんでみると薄い黄色になったことに驚く。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自然あそび―葉っぱ一枚の感触、嗅覚、視覚を使い葉っぱの違いや同じところを探しだす子どもたちの力を感じた。

虫探し―穴の開いている場所からアリが出てきた経験や以前ダンゴムシを見つけた場所を思い出しながら探していた。虫が「いない」で終わりにせず、なぜいないかを考え合ったりどうしたら出てくるか提案しあうことで遊びが次々に展開していく様子が見られた。また虫が出てくる環境を自分たちで作りだそうとする姿もあり、考えたことを実践する力が身についてきたことを実感した。

観察―顕微鏡を使ったことで近づけてみたり、遠くしてみたりと使い方を自分たちなりに探究する姿が見られた。葉っぱによって匂い、感触、葉脈の違いなども考えを交わしていた。

自然物の匂いを嗅ぐことから、こんなにも意見が広がることに驚いた。それぞれが感じたことを「違うよ」などと否定することなく認め合う環境や雰囲気で見守ることができ。活動後は、園庭で自ら葉を見つけ仲間探しをする姿が増え変化を感じることができた。